

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 12日

宇都宮市長 佐藤 栄一 殿

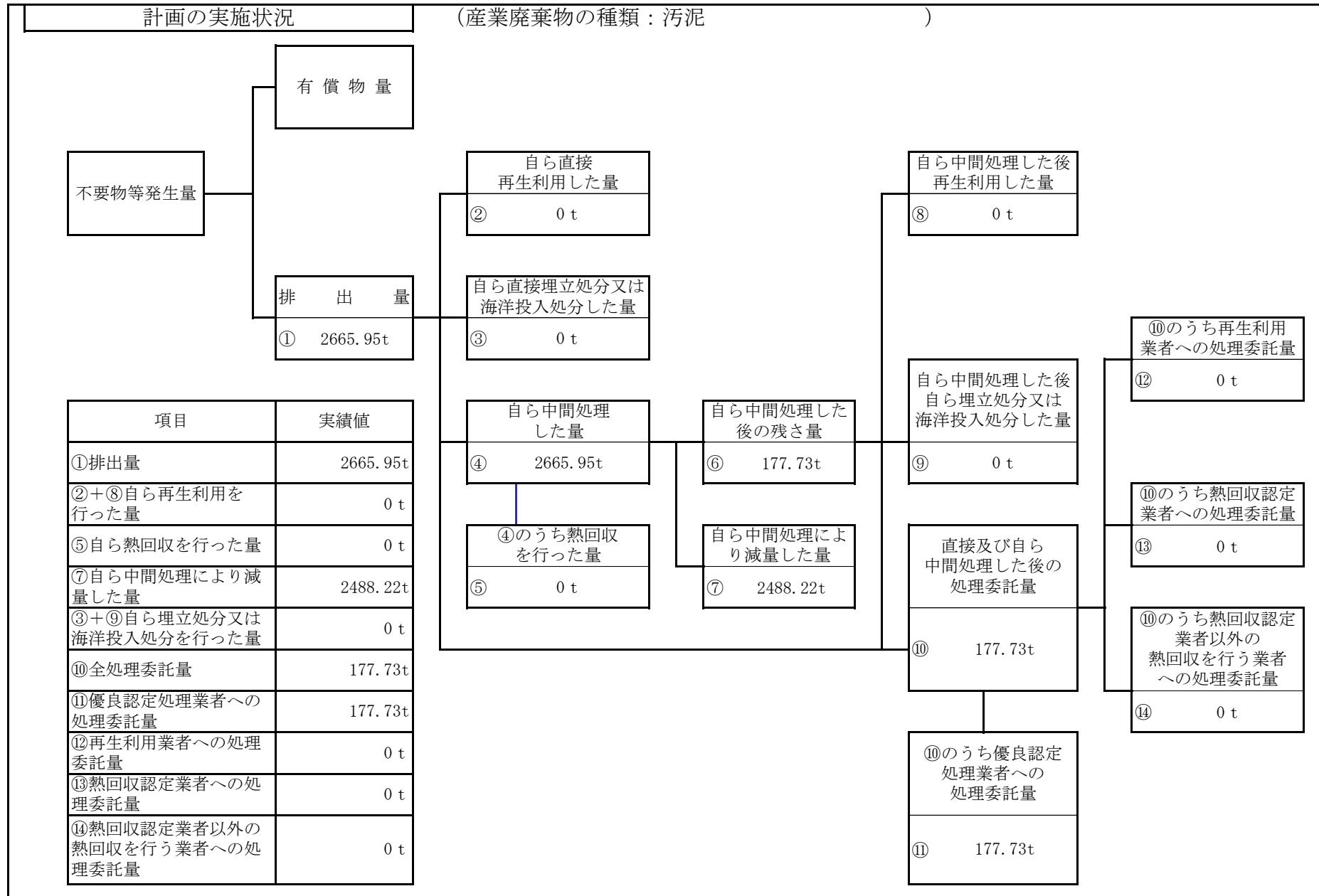
提出者 宮島醤油株式会社 宇都宮工場
住 所 栃木県宇都宮市清原工業団地29番
氏 名 工場長 野沢 隆志

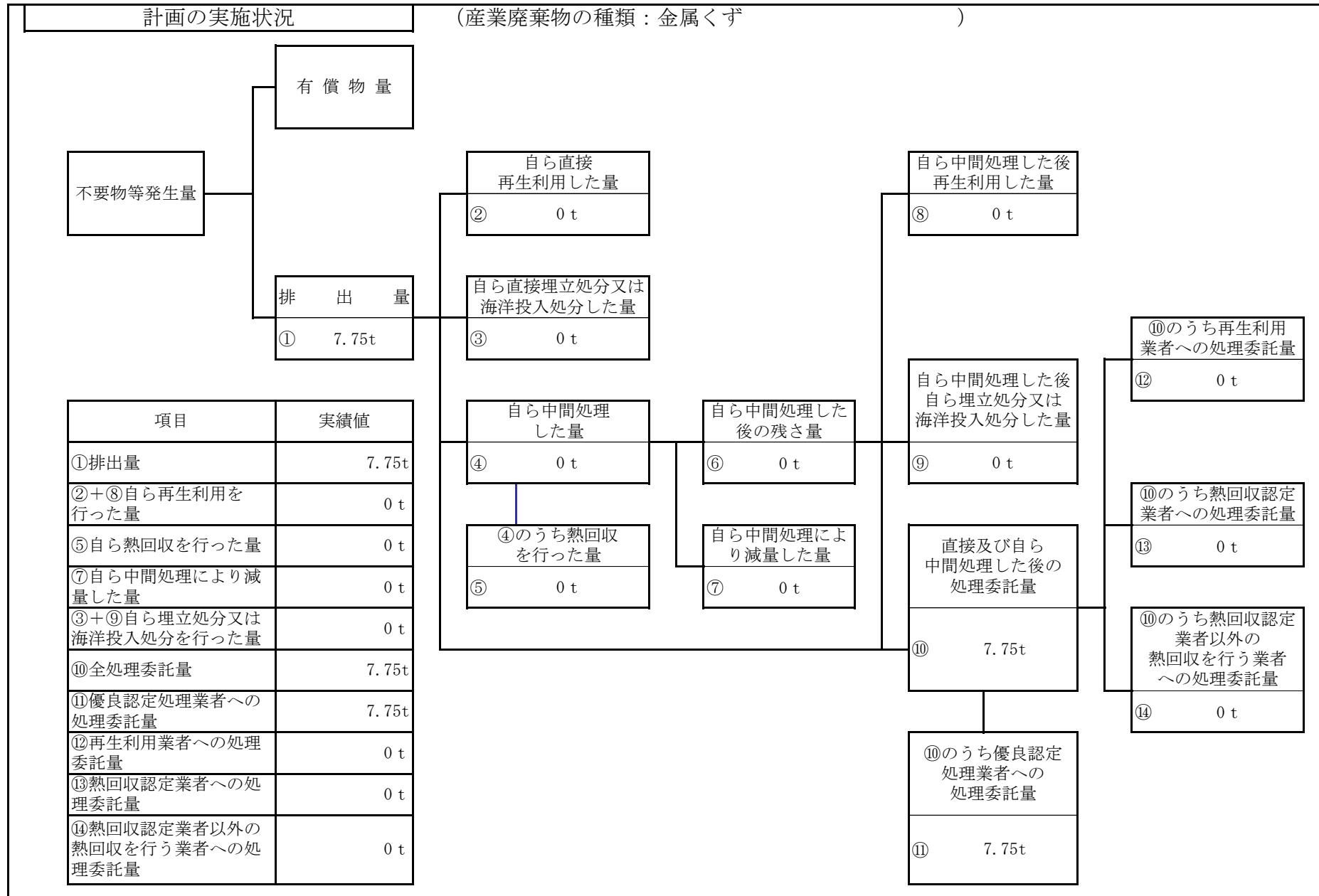
電話番号 028-667-5155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

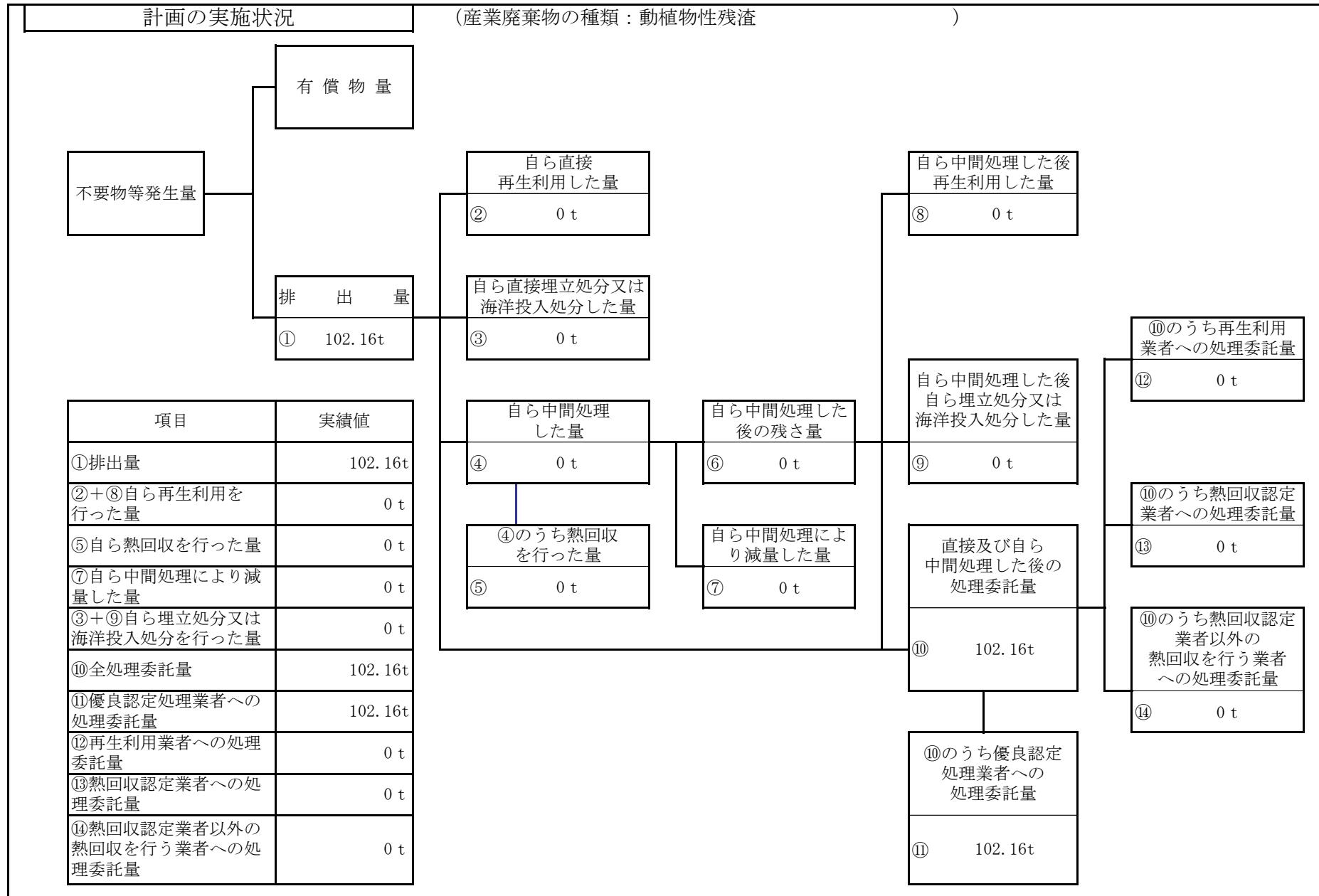
事 業 場 の 名 称	宮島醤油株式会社 宇都宮工場		
事 業 場 の 所 在 地	栃木県宇都宮市清原工業団地29番		
事 業 の 種 類	製造業〔食料品製造業〕		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	3000 t	全 处 理 委 託 量	413 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	413 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2800 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

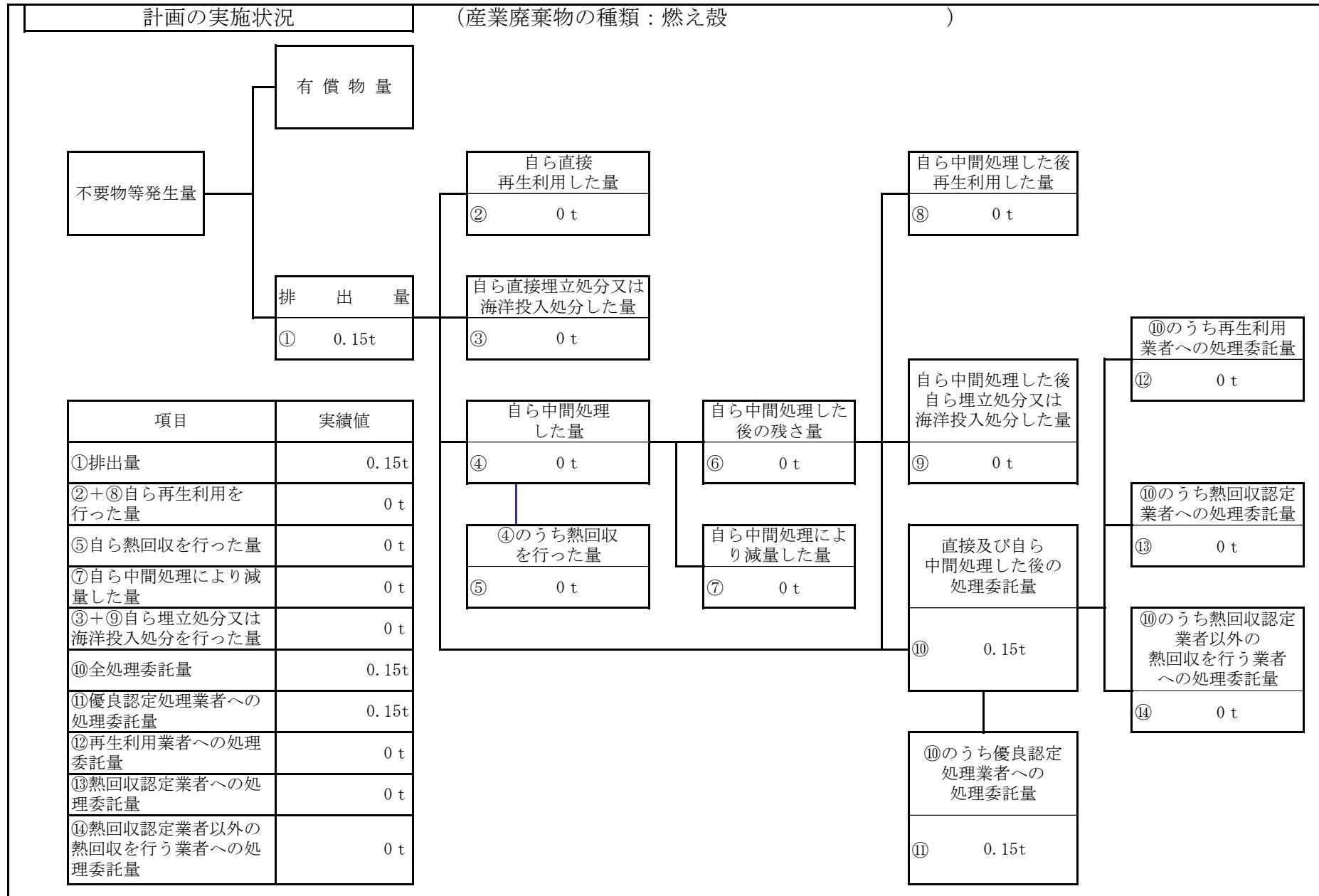




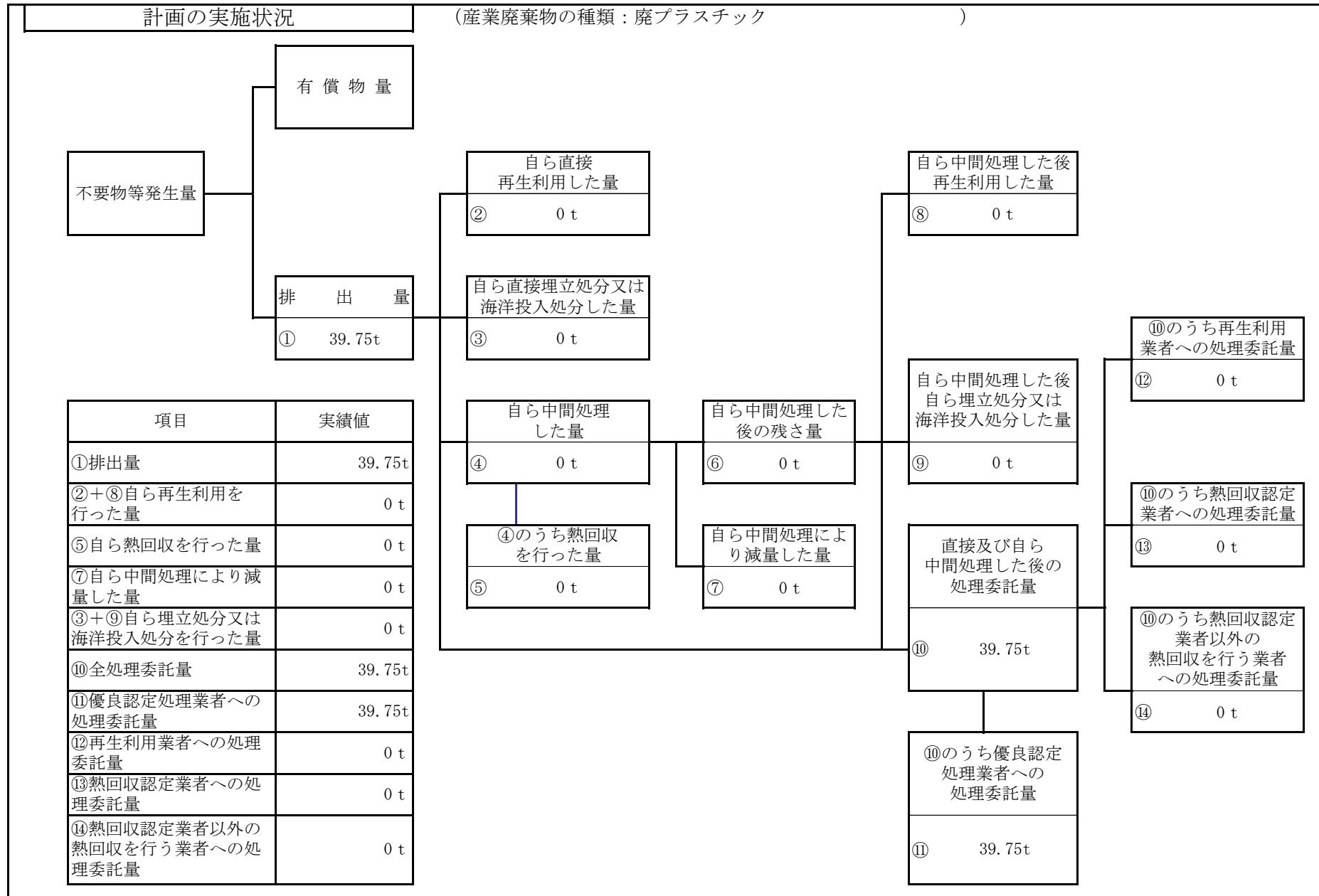
(第2面)

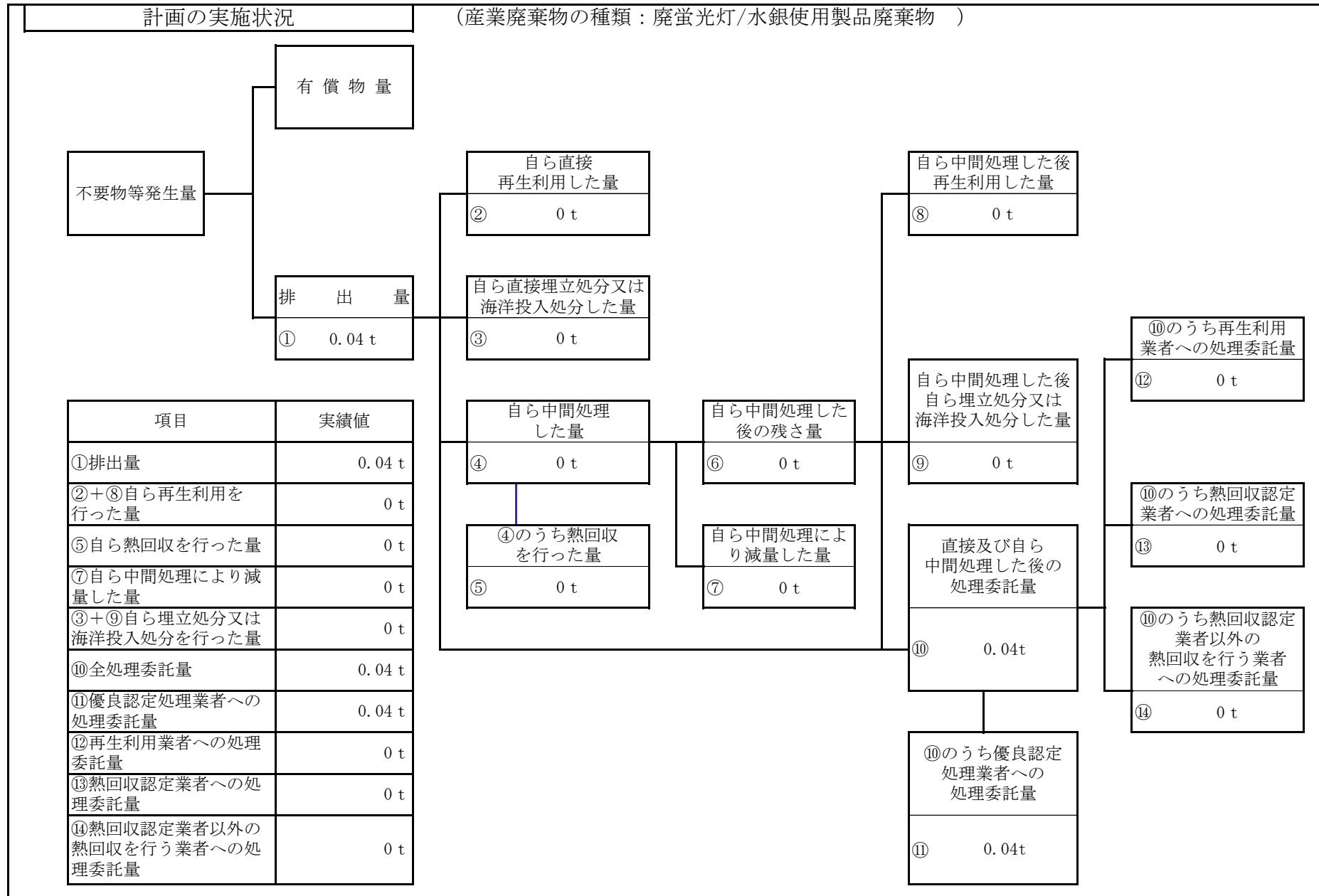


(第2面)

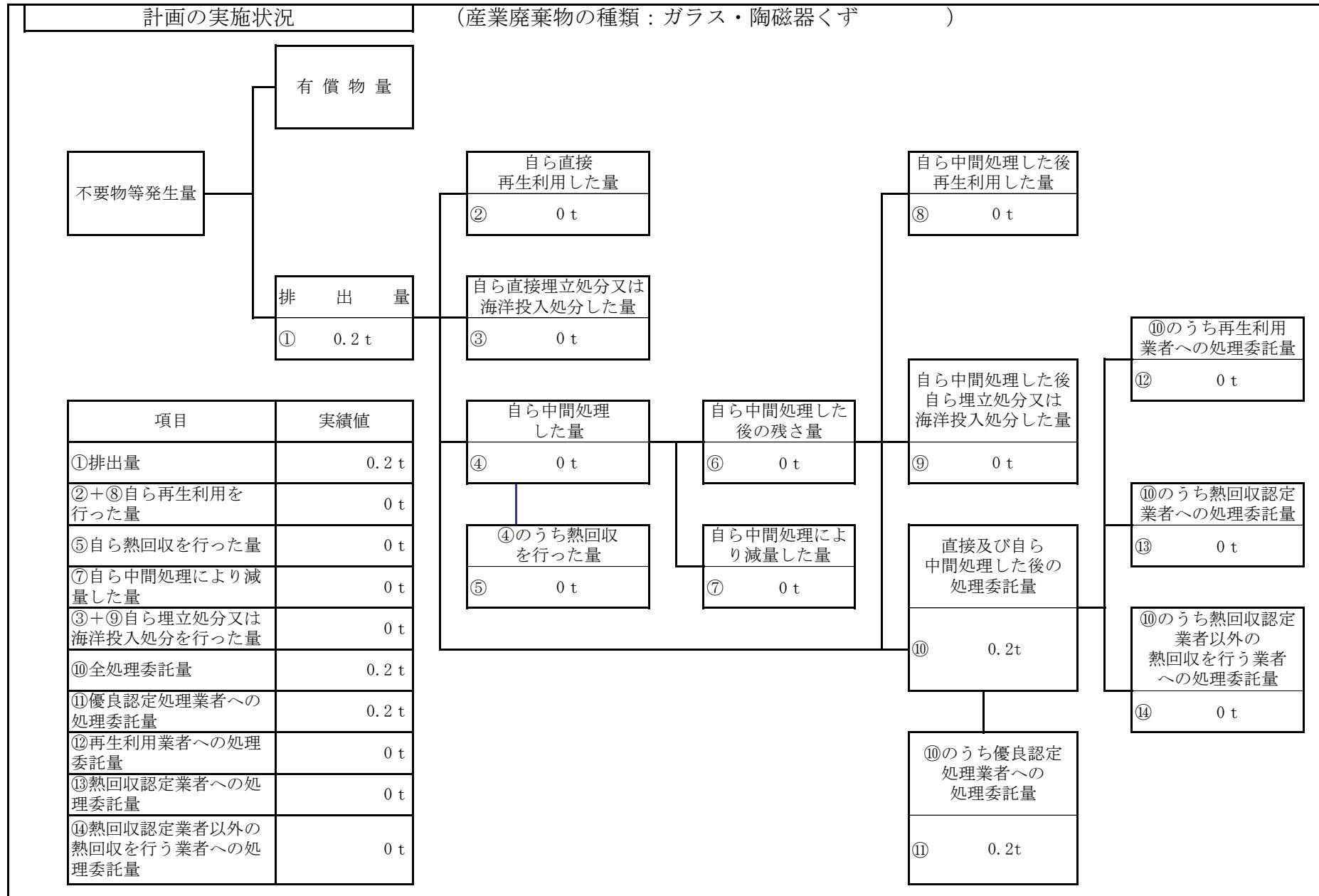


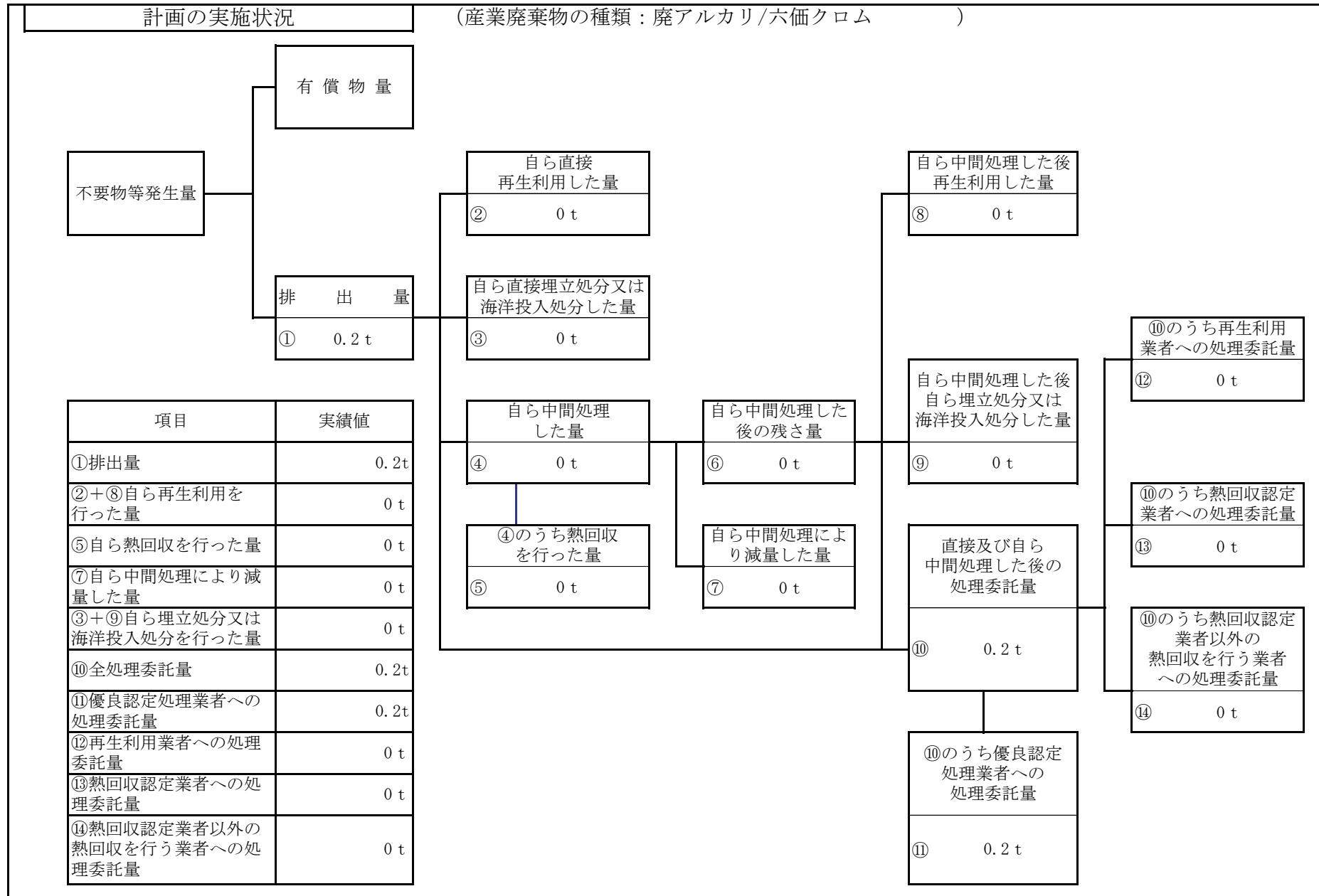
(第2面)





(第2面)





備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙
(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(2024 年度実績)

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再 生利用した 量	③ 自ら直接埋 立処分又は 海洋投入処 分した量	④ 自ら中間処 理した量	⑤ ④のうち熱 回収を行つ た量	⑥ 自ら中間処 理した後の 残さ量	⑦ 自ら中間処 理により減 量した量	⑧ 自ら中間処 理した後、再 生利用した 量	⑨ 自ら中間処 理した後、自 ら埋立処分 又は海洋投 入処分した 量	⑩ 直接及び自 ら中間処理 した後の処 理委託量	⑪ ⑩のうち優 良認定処理 業者への処 理委託量	⑫ ⑩のうち再 生利用業者 への処理委 託量	⑬ ⑩のうち熱 回収認定業 者への処理 委託量	⑭ ⑩のうち熱 回収認定業 者以外の熱 回収を行つ る業者への処 理委託量
燃え殻	0.15									0.15	0.15			
汚泥	2665.95			2665.95		177.73	2488.22			177.73	177.73			
廃油														
廃酸														
廃アルカリ	0.20									0.20	0.20			
廃プラスチック類	39.75									39.75	39.75			
紙くず														
木くず														
繊維くず														
動植物性残さ	102.16									102.16	102.16			
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	7.75									7.75	7.75			
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0.20									0.20	0.20			
鉱さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ぱいじん														
廃蛍光灯(水銀使用製品廃棄物)	0.04									0.04	0.04			
合計	2816.20	0.00	0.00	2665.95	0.00	177.73	2488.22	0.00	0.00	327.98	327.98	0.00	0.00	0.00

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

エラー:赤色表示 (1)+(6)≠(2)+(3)+(4)+(8)+(9)+(10) (4)≠(6)+(7) (4)<(5) (10)<(11)

目標項目	排出量	自ら熱回収を行つ産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (報告書項目②+(8))	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (報告書項目②+(8))	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (報告書項目②+(8))	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
前年度目標値(前年度計画書数値)	3000			2800			413	413		